



# 尾久八幡

令和7年度11月号

令和7年11月6日発行

荒川区立尾久八幡中学校

校長 稲葉 裕之

八幡中の“文化”を感じた一日となりました

学芸発表会【舞台発表の部】10月25日(土)

スローガン『千紫万紅～解き放て、己のカラー～』のもと、10月25日(土)、本校2階アリーナにて、学芸発表会【舞台発表の部】を開催しました。

午前の部のスタートは6組による「合奏・ダンス」、今年は合唱にも取り組み、わずか12名ながら堂々とした歌声をアリーナに響かせました。学年ごとの「合唱コンクール」では、どの学級も、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮し、そのクラスのできる最高の合唱を聴かせてくれました。結果は様々でしたが、どの生徒の表情からも、やり遂げた充実感、仲間と作り上げた喜びが感じられました。



午前の部最後の「有志合唱」は、今年は教員の参加もあり、総勢99名による合唱となりました。メッセージ朗読やソロパートもあり、これまで以上に感動的な合唱を披露してくれました。

学年	金賞	銀賞	銅賞	指揮者賞
3年	3組・4組	1組・2組		3-2 中西 凜
2年	3組	2組	1組・4組	2-3 長沼来実
1年	2組	1組・3組	4組	1-2 村井紬生

特別賞: 6組 伴奏者賞: 全学級の伴奏者

午後の部は、2日前の荒川区立中学校連合英語発表会の代表生徒を中心とした「英語科発表」、2週間後に区大会を控えた「演劇部発表」を鑑賞しました。その後の「吹奏楽部発表」では、この夏の都コンクールで東京都代表5校に選ばれ東日本学校吹奏楽大会でも演奏した「付喪神」とともに、なじみのある楽曲を披露してくれました。演奏の素晴らしさはもちろん、テンポのいいMCや見せる演出で、観客を楽しませてくれました。



発表	演目、発表者 等
英語科発表	“ The Importance of Friends ”【3-2 佐々木 悠和】、 “ Save the Earth ”【2-4 中島 向陽】、 “Sammy the Salmon”【1-2 青谷 穏空、1-4 劉 妍希】
演劇部発表	「夏芙蓉」
吹奏楽部発表	付喪神 他

日頃、運動部の活動は目にすることがあります。この学芸発表会では、文科系のさまざまな活動を見る事ができました。レベルの高い演奏、楽しさが伝わる演奏を聴かせてくれた吹奏楽部、練習の努力がうかがえる英語発表、他校では珍しくなりつつある演劇部、合唱の楽しさ・素晴らしさを改めて感じさせてくれた有志合唱など。どれもその出来栄えに感心すると共に、生き生きと取り組む生徒たちの姿を見ていると、こちらまで楽しくなってきます。学校というところには、部活動を含め、こうしたいいろいろな“活動のチャンス”があります。生徒のみなさんには、そのなかから何か一つでも自分のやりたいことをみつけたり、取組を通じてよかったと思える体験を積み重ねてくれたりしてほしいと願っています。八幡中の“文化”を感じた一日となりました。

本校の学校経営方針の「目指す学校像」の1つに、「チャンスの転がっている学校」があります。これは、学校生活のなかに様々な経験をする機会を設けることで、自分に向いていることや興味のもてるに出会ったり、自分の良さや得意なことに気付いたりする、そんなきっかけ・出会いが多くある学校でありたいという思いを表しています。部活動やボランティア活動を奨励したり、JRC活動を取り入れたり、また、9月に行った「校内ビブリオバトル」もその1つです。「校内ビブリオバトル」については、その再開により、読書や発表活動へ興味や関心をもつ機会となってくれればとの願いがあります。校内にこうした様々な活動のチャンスがあり、そこから自分の良さを発見したりそれを発揮したり、文化的な楽しみや喜びを味わうことができる八幡中でありたいと思います。

ここからは、10月に行われた大会への参加について紹介します。

**地域の方を前に、堂々とした発表をしてくれました。**

**尾久地区「中学生の主張」発表会 参加 10月4日(土)**

10月4日(土)、アクト21ホールにて、尾久地区「中学生の主張」発表会が開催され、本校からは、2年生 榊原 裕人さん、1年生 大野 琴瑚さんが発表しました。この発表会は、「地域の中学生が日常の生活の中で考えていること、感じていること、また希望や意見などを発表する」場として、荒川区青少年育成尾久地区委員会の主催で行われ、今年で43回となります。

発表に際しては、「自分はなぜそう思ったのか」「どうしてそういう考えになったのか」、そうしたことを自分自身に問い合わせ、突き詰めていく必要があります。そして、聴衆にわかるよう文章にまとめ、伝わるように話さなければなりません。大野さんも榎原さんも、そうしたことにしっかりと取り組んだ様子がうかがえ、さらに、それを地域の方を前にして堂々とした発表をしてくれました。お疲れさまでした。



こうした経験ができる機会を開催していただいた関係者の皆さんに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

自身の思いや考えを伝える発表をしてくれました。

高円宮杯 全日本中学校英語弁論大会

東京都予選大会 参加 10月4日(土)

10月4日(土)、赤坂区民ホールで開催された高円宮杯 第77回 全日本中学校英語弁論大会 東京都予選大会に3年生 半澤 弥空さんが参加してきました。この大会は、英語力の向上、国際親善への寄与等を目的として、1949年に始まった歴史と伝統ある英語スピーチコンテストです。審査基準は、その英語力だけでなく、スピーチの内容、論理性、表現力などが総合的に評価され、国内最高峰の英語弁論大会といわれています。



今年の東京都予選大会には、国・公・私立中学校から46名の生徒が参加、そのなかで半澤さんは、「Understanding Different Cultures Through Food」を演題に、自身の思いや考えを伝える発表をしてくれました。お疲れさまでした。

これまでの練習の成果を発揮してくれました。

荒川区連合英語発表会 10月23日(木)

10月23日(木)、サンパール荒川 小ホールで、荒川区連合英語発表会が開催されました。本校からは、「スピーチ部門」に3年生 佐々木 悠和さんが演題「The Importance of Friends」で、「パフォーマンス部門」に2年生 大井 夢愛さん、中島 向陽さんが演題「Save the Earth」で出場、今までの練習の成果を発揮し、堂々とした発表をみせてくれました。

今、日本の英語教育では「スピーキング」が注目されています。東京都でも「中学英語スピーキングテスト」= “ESAT-J”を中学1～3年生でそれぞれ実施、3年生の結果は、都立高校の入学選抜に活用されます。これから多くの生徒が、意欲を持って取り組んでくれることを期待しています。



見事、銀賞を受賞！応援いただき、ありがとうございました。

吹奏楽部 「東日本学校吹奏楽大会」 出場 10/11(土)

本校吹奏楽部は、この夏に行われた「東京都中学生吹奏楽コンクール」において、「東日本部門」で金賞をいただき、さらに金賞受賞校から選出された東京都代表5校として、「東日本学校吹奏楽大会」に出場することになりました。

この大会は、北海道・東北・東関東・西関東・東京・北陸の6吹奏楽連盟と朝日新聞社が主催となり、小学生バンドの演奏機会の拡大、中学・高校の小編成バンドの育成と質的向上を目指して開催されています。今年で25回を迎え、2日間の日程のうち「中学生部門」は初日の10月11日(土)に行われました。



当日は、6つのブロックから選出された各5校からなる出場30校が、午前・午後の前後半の部に分かれ、15校ずつ演奏します。うち本校は、全体の19番目、午後の部の4番目に演奏しました。精鋭が集まった大舞台、張り詰めた会場の雰囲気の中で緊張したことと思いますが、そのなかにあっても、生徒たちは自分たちの演奏をやり切ってくれました。結果、見事“銀賞”をいただくことができました。これまで取り組んできたことをこうした形で発表することができたこと、大変嬉しく思います。

また、関係する多くの皆さんに応援いただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。